

別紙様式

組織評価の改善状況報告書

平成29年3月22日

評価会議議長 殿

農 学 部 長

組織評価に関する実施要項第10条に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成28年度の改善状況を報告します。

要改善事項
アドミッションポリシーの再定義
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
新学科改組に伴い、カリキュラムや育てる人材像を変更する必要があるため、平成28年度中にアドミッションポリシーを再定義する。
改善状況
新学科改組に伴い、農学部のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーとともに、アドミッションポリシーを検討し、再定義した。
達成年度（予定を含む）
平成28年度

要改善事項
環境森林科学専攻の充足率の低さ
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
大学院教育について議論し、教育カリキュラム委員会で学部教育の改革の議論と平行し、大学院教育について議論し、専攻の充足率の問題を改組も含めて検討する。
改善状況
魅力ある教育プログラムとして、環境森林科学専攻（現農学専攻環境森林科学系列）に山岳科学教育プログラムを平成29年度から開設することとした。また、農学専攻全体の大学院教育については、今後行われる全学の大学院教育の検討時にあわせて、検討することとした。
達成年度（予定を含む）
平成28年度

要改善事項
学生アンケートの回答率の低さ 農学部独自のアンケート
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
真に必要な授業改善、カリキュラム改善に結びつくようなアンケートの内容、方式を検討していく。最終的には新カリキュラム内のPDCAサイクルの一環としてアンケートを位置づけ、今よりも実効性のあるアンケートを実施する。
改善状況
新学科改組を実施するのにもない、アンケートを実施し、新カリキュラムを構築した。また、平成28年度から、教育カリキュラム委員会を新設し、新カリキュラムの実施、チェック並びに分析を実施している。
達成年度（予定を含む）
平成28年度

要改善事項
自習スペース・ラウンジの拡充
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
現在、農学棟を改築中であり、新棟が完成した段階で自習スペース・ラウンジは拡充される。
改善状況
農学総合棟の改築に伴い、各階に次週スペース・ラウンジを拡充・整備した。
達成年度（予定を含む）
平成28年度